

オリジナル絵本「はちのへのうみ」を読み聞かせする
八戸学院大短期大学部読み聞かせサークルの学生と集
中して聞く子どもたち



「おはなし会」クリスマス気分で

八戸

「冬のおはなし会」いっしょに見つけよう！ 冬のおはなし」が6日、八戸市立図書館で開かれた。クリスマス

作り絵本「はちのへのうみ」も紹介され、子どもたちはクイズに答えながら八戸の海の生物について理解を深めた。盛岡市から訪れた森彩実ちゃん(4)は「みんなで(ドレミパイプを使って)演奏したのが楽しかった」と笑顔。読み聞かせサークル部長の浅沼妃夏さん(20)は「練習期間が短く不安もあったが、集中して聞く様子や子どもたちの笑

八学短大サークルが読み聞かせ

同館は毎週木、土曜日に加え、春、夏、冬の年3回、季節を感じられる特別なおはなし会を開催している。

この日は八戸学院大短期大学部の読み聞かせサークルに所属する8人が、絵本の朗読やパネルシアターを披露したほか、来場した子どもたちと一緒にプラスチックの打楽器「ドレミパイプ」でジングルベルを演奏し、会場を盛り上げた。

20日には八戸市の「はっち」で、ミニコンサート「はっちdeクリスマス」が開かれる。同サークルの学生たちが、歌やダンス、読み聞かせなど多彩な催しを行う。入場無料。開演時間は午前の部が11時、午後の部が1時。問い合わせは八戸学院大短期大学部幼児保育学科代表電話0178(25)44111へ。

卒業生が製作したという手

(出町佳菜)